

フクフォームEco が選ばれる理由 !

リサイクル

環境にやさしい断熱材

環境性能

産業古紙と水発泡を利用したエコ製品です

これまで廃棄処分されていた未使用の紙廃材を再生利用し、再生プラスチックとコンスターチを原料に、水発泡技術で製造した断熱材です。人にも環境にもやさしいエコ素材です。



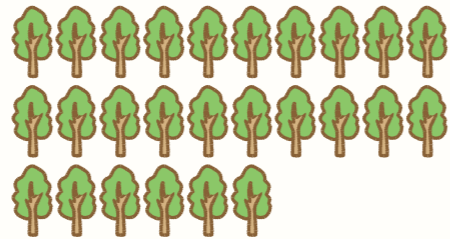
エコ素材!



CO₂削減量は、スギの木26本分*1/棟

原材料製造から廃棄までに排出するCO₂の量(ライフサイクルCO₂)を住宅1棟(20坪)当りで比較してみると、他の断熱材の1/4~1/2と極めて低く、グラスウールと比べると359kgのCO₂削減**2ができます。

*1 スギ1本は、年間約14kgのCO₂を吸収 *2 当社比



CO₂削減



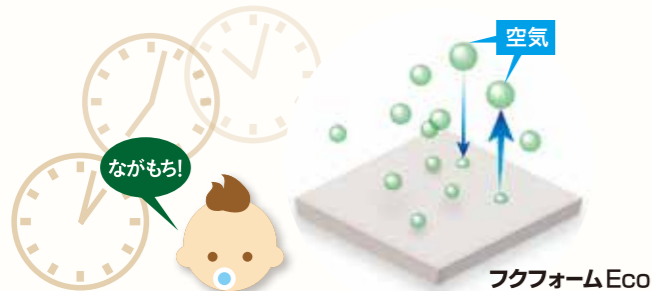
断熱性能

ぴったりフィットで断熱材が長持ち

施工性

省エネ基準レベルの断熱性能が長持ち

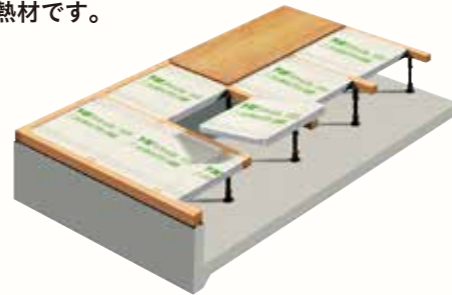
省エネ基準の最高ランクの高断熱住宅を実現する優れた断熱性能を持つ床断熱材です。しかも経年変化の少ない水発泡製品なので、発泡剤(断熱ガス)の発散がなく、長年にわたって高い断熱性能を維持できます。



フクフォームEco

ぴったりフィット。断熱材が垂れません

床下断熱は施工がむずかしいといわれています。断熱材が脱落したり、床との間にすき間ができると、断熱効果が発揮されません。「フクフォームEco」は、どんな工法にも寸法にもぴったりフィットする豊富なバリエーションと、落下防止やすき間が出ない工夫が施された施工性の高い床専用の断熱材です。



住まいを快適にする 床下断熱のおはなし

床の断熱が大切な理由

住まいの断熱が大切な理由

断熱材にも自然素材を使いたい理由

フクフォームEcoが選ばれる理由

平成25年
省エネ基準附則

断熱等性能
等級4対応

 **フクビ化学工業株式会社**

本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

2018年7月価格改定版

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400
西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832
北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315
岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)822-2301
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1943-2112

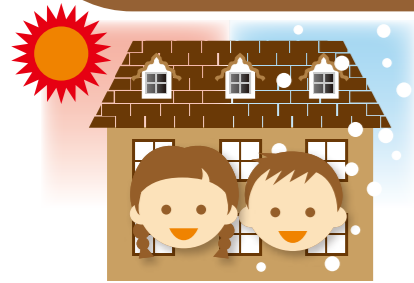
<https://www.fukuvi.co.jp>

KC530 2018.7 EX



●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。価格に消費税は含まれていません。

「断熱」はどうして必要なのでしょう？



断熱とは、文字通り「熱」を「断」つということで、天井や床、壁から伝わる冬の冷氣や夏の熱射を遮る効果があり、快適で過ごしやすい住環境をつくる上で不可欠なものです。断熱性能を高めることで、住まいの省エネ性もアップします。

断熱すると、どんなメリットがあるの？

快適

夏涼しく、冬暖かく過ごせる。

断熱すると、熱が遮断されるので、外が寒くても家の中はあたたかく、外が暑くても家の中は涼しいという、暑さ寒さをやわらげる快適な住まいが実現できます。断熱性能を高めることで、1年を通じてより温度変化の少ない快適な住まいになります。

健康

家の中の温度差が小さくなる。

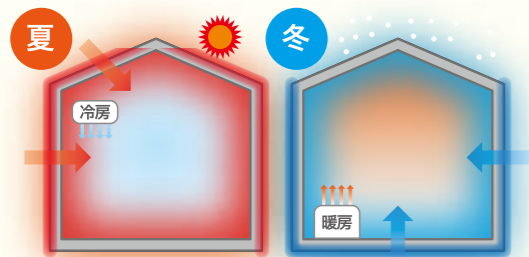
冬暖房した部屋から寒いトイレや浴室に入ったとたん心筋梗塞や脳溢血で倒れるということがあります。これをヒートショックと呼びます。これにより家の中の温度差は人の体に大きなストレスを与えるものです。断熱性能を高めることで、健康にもよい住まいになります。

省エネ

冷暖房効率が上がる。

しっかり断熱した家は、外に熱が逃げにくいので、暖房や冷房で使用するエネルギー量も少なくて済みます。その分冷暖房費も節約でき、CO₂削減にも貢献できる省エネ住宅になります。

断熱不足の家



断熱性能の高い家

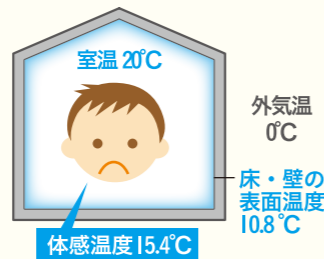


暖房しているのに寒く感じるのはなぜ？

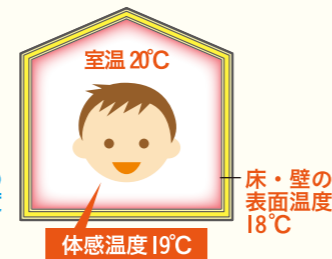
室温と体感温度に差があるからです。

外気に接する床や壁や窓の表面温度は、室内に比べてどうしても低くなります。断熱性能が低いとその差はさらに大きくなります。私たちが体で感じる温度(体感温度)は、「室温」と床や壁などの「表面温度」の平均値が目安となります。室温を20℃にしても、床や壁の表面温度が11℃しかなければ、その平均の15.5℃が体感温度となるので寒く感じるわけです。

断熱不足の家



断熱性能の高い家



$$\text{体感温度} = \frac{\text{室温} + \text{周囲の表面温度}}{2}$$

出典：(財)建築環境・省エネルギー機構「住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)」

「床下断熱」はなぜ大切なのでしょう？

地面に最も近く、常に外気と湿気にさらされているのが床下です。床下にしっかり断熱材を施工することで、床への熱の伝わり方が大きく変わります。暖房しても床が冷たい、足元が寒いという場合は、床下を要チェック！床は壁や天井と違って直接体に触れるので、断熱効果を体感しやすい部分です。

床下断熱のメリットは？

足元の冷えがやわらぐ。

床材のすぐ下を断熱するので、冬の寒さの改善には非常に効果的な断熱です。冬場のフローリングの冷たさや足元の冷えをやわらげるので、快適性もグンとアップ。体にやさしい床になります。

暖房効率を上げる省エネ効果も大きい。

暖かい空気は下から上にいくので、床の断熱をしっかりしないと、いくら設定温度を上げても熱が逃げていばかりでエネルギーの無駄遣いに。特に床暖房にする場合は、床暖房で暖めた熱が床下に逃げていくのを防ぐためにも、床下に断熱材をしっかり施工することが重要です。



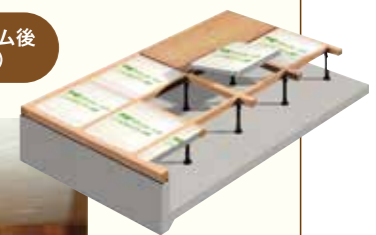
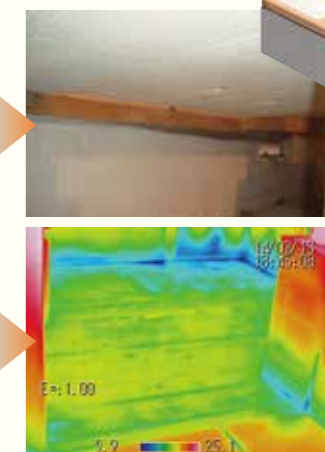
床下断熱すると、どのくらい部屋の暖かさが違うの？

下記の写真の範囲の床下にフクフォームEcoを施工し、断熱リフォーム前後の室温を測定しました。暖房開始後85分の時点の室温を比べてみると、リフォーム前後では約2℃の差がでました。これは、床下にフクフォームEcoを施工することで、床下に熱が逃げにくくなるので、室内が暖まりやすく冷えにくくなり、暖房効率もアップ。床面の温度も上昇し、室内の温度差も小さくなるので、体感温度も高まります。

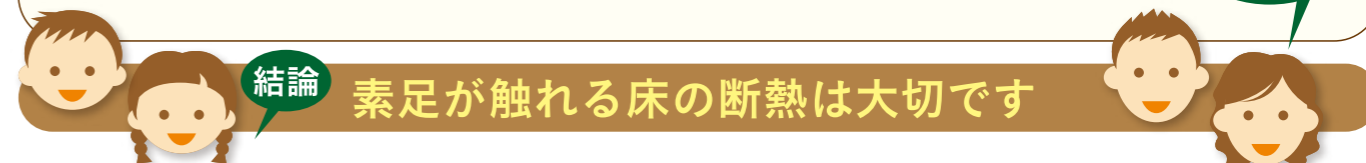
床下断熱リフォーム前



床下断熱リフォーム後(フクフォームEco)



室温が2℃床や壁際も暖くなるのね！



結論

素足が触れる床の断熱は大切です